

ブロイラー産肉能力に関する試験〔第37報〕

銘柄別比較試験

清水正明・富久章子・吉岡正二・松長辰司・笠原 猛

要 約

ブロイラーの改良と農家経営の指針を得るため、県内で飼育されている主要2銘柄について、平成23年9月6日から平成23年10月25日（49日間）まで産肉能力試験を実施した。

7週齢までの育成率はチャンキーが97.1パーセント、コップが98.0パーセントであった。出荷時体重はチャンキーが3,287グラム、コップが3,064グラムであった。飼料要求率はチャンキーが1.72、コップが1.88、プロダクションスコアはチャンキーが377.8、コップが325.7であり、ともにチャンキーの方が優れていた。一方と体成績では、と体歩留まりがチャンキーで94.8パーセント、コップが95.8パーセント、もも肉歩留まりがチャンキーの19.5パーセントに対しコップが20.5パーセントと高かった。

以上の結果から、養鶏農家の素雛導入にあたっての指針が得られた。なお、品種改良が急速に進んでいることから、今後も継続した試験が必要である。

目 的

当所では、ブロイラーの改良と養鶏農家の素雛購入の指針を得るため、過去30数年にわたりブロイラーの主要銘柄について産肉能力試験を実施している¹⁾。本試験では、県内に流通している市販2銘柄を用い、その発育性、飼料摂取量、飼料要求率及びと体成績について検討した。

材料および方法

1) 試験期間

平成23年9月6日から平成23年10月25日(49日間)

2) 試験区分

供試鶏種及び羽数を表1に示した。

チャンキー及びコップともに雌雄各51羽ずつ供試し、雌雄別飼とした。

表1 試験区分

(羽)				
区	銘柄	♂	♀	計
1	チャンキー	51	51	102
2	コップ	51	51	102

3) 供試飼料

供試飼料の種類及び成分を表2に示した。

試験期間を通して市販のブロイラー用飼料を用いた。

4) 飼養管理

試験鶏舎は平飼開放型鶏舎で1室4.32平方メートルを使用した。各鶏種ともに各室51羽(39羽/3.3m²)を収容した。育雛、育成とも同一場所で飼育した。

温度管理は当所の慣行に従った。パンケーキ型

表2 供試飼料

期 間	種 類	成 分 (%)				ME
		CP	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	(kcal/kg)
0～3週齢	ブロイラー肥育前期用	23.0	4.0	5.0	8.0	3,010
3～6週齢	ブロイラー肥育後期用	18.0	7.0	5.0	7.0	3,300
6～7週齢	ブロイラー休薬用	18.0	7.0	5.0	7.0	3,320

CP：粗タンパク質 ME：代謝エネルギー

ガスブルーダーによる給温は2週齢時に廃した。

飲水はニップルドリンカーを使用し、不断給水とした。

5) 衛生管理

ワクチネーションは、初生時にIB、2週齢時にND及びKB、16日齢時に1BD、3週齢時にILT、4週齢時にNDとした。その他の薬剤投与は当所の慣行に従った。

6) 調査項目

調査項目は次のとおりである。

- (1) 鶏舎環境
- (2) 育成率
- (3) 発育体重
- (4) 飼料摂取量
- (5) 飼料要求率
- (6) と体成績

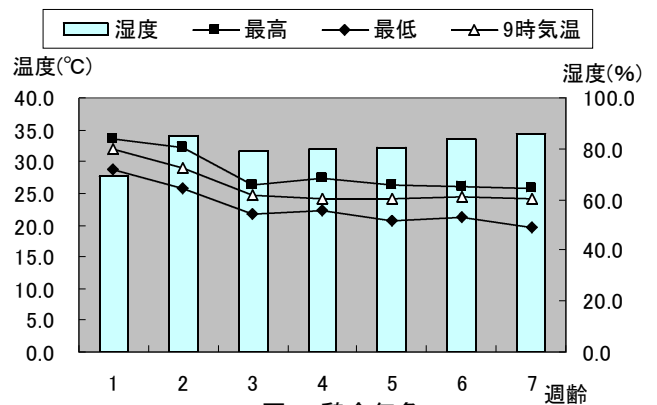


表3 育成率

区	♂	♀	平均 (%)
1	96.1	98.0	97.1
2	96.1	100.0	98.0

3) 発育体重

発育体重は表4のとおりである。

表4 週齢別発育体重

区	性	0	3	5	6	7週齢 (g)
1	♂	40.3	1,015	2,382	3,045	3,542
	♀	39.9	895	2,078	2,597	3,031
	平均	40.1	955	2,230	2,821	3,287
2	♂	40.7	955	2,243	2,830	3,230
	♀	41.2	891	2,082	2,526	2,898
	平均	41.0	923	2,163	2,678	3,064

結果及び考察

1) 鶏舎環境

鶏舎気象は図1のとおりである。

2) 育成率

育成率は表3のとおりである。

雄の育成率は、雌と比較して両区とも低かった。

表5 1羽1日あたりの飼料摂取量

飼料種類・週齢		(g/羽/日)						
		前期用			後期用			休薬用
区・性		1	2	3	4	5	6	7
1	♂	20.4	54.6	92.9	126.6	179.7	178.7	179.9
	♀	20.7	49.3	78.2	121.5	156.9	165.7	168.7
	平均	20.6	52.0	85.6	124.1	168.3	172.2	174.3
2	♂	19.9	55.2	95.5	137.3	176.5	190.7	174.6
	♀	20.7	52.7	86.0	137.3	166.4	154.6	157.4
	平均	20.3	54.0	90.8	137.3	171.5	172.7	166.0

初生時の体重は雄、雌ともに2区の方が重かったが、その後の増体は7週齢時まで概ね1区の方が良かった。

4) 飼料摂取量

飼料摂取量は表5及び表6のとおりである。

7週齢までの1羽当たりの総摂取量は、1区雄5,829.6グラム、雌5,327.0グラム、2区雄5,947.9グラム、雌5,425.7グラムであり、雄雌ともに2区の方が多かった。

表6 期間別飼料摂取量

		(g/羽)			
期間	0~3	3~6	6~7	計	
区・性	週齢	週齢	週齢		
1	♂	1,175.3	3,395.0	1,259.3	5,829.6
	♀	1,037.4	3,108.7	1,180.9	5,327.0
	平均	1,107.4	3,252.2	1,220.1	5,579.7
2	♂	1,194.2	3,531.5	1,222.2	5,947.9
	♀	1,115.8	3,208.1	1,108.8	5,425.7
	平均	1,155.7	3,370.5	1,162.0	5,688.2

5) 飼料要求率

飼料要求率は表7のとおりである。

7週齢時において1区雄1.66、雌1.78、2区雄1.86、雌1.90であった。

なお、3、5、6週時においても、雄雌ともに1区の方が低かった。

表7 飼料要求率

		週齢			
区・性		3	5	6	7
1	♂	1.21	1.42	1.52	1.66
	♀	1.21	1.47	1.62	1.78
	平均	1.21	1.44	1.57	1.72
2	♂	1.31	1.54	1.69	1.86
	♀	1.31	1.59	1.74	1.90
	平均	1.31	1.56	1.72	1.88

6) と体成績

と体成績を表8に示した。

と体調査は、7週齢時に食鳥取引規格に基づき実施した。調査に供試する個体は、各区の平均体重に近いものを雄、雌3羽ずつとした。

と体歩留まり率は1区平均94.8パーセント、2区平均95.8パーセント、胸肉と腿肉及びささみの合計はそれぞれ47.0パーセント、46.7パーセントであった。

7) 経済性

経済性を表9に示した。

7週齢における1羽あたりの所得は1区雄171.4円、雌116.4円、雄雌平均143.9円、2区雄119.5円、雌91.5円、雄雌平均105.5円であった。これらを生体重1キログラムあたりの所得に換算すると1区雄雌平均43.8円、2区雄雌平均34.4円となった。

ブロイラーの能力は毎年向上しており、今後も継続調査を実施するとともに、ブロイラーの能力に見合った飼養管理技術の改善を図る必要がある。

文 献

1) 板東成治・富久章子・笠原 猛. 徳島県立

農林水産総合技術支援センター畜産研究所研究報告, 10:47-61.2011.

2) 板東成治・富久章子・吉岡正二・松長辰司・笠原 猛. 徳島県立農林水産総合技術支援センター畜産研究所研究報告, 11:29-33. 2012.

表8 と体成績(7週齢時)

(体重:g, その他:%)

項目 区・性	生体重	と体重	と体 歩留	むね	もも	ささみ	計	骨付き 手羽	可食内蔵			腹空内		
									心臓	筋胃	肝臓	計	脂肪	
1 ♂	3,510	3,317	94.5	23.2	20.3	4.1	47.7	8.3	0.4	1.2	2.0	3.6	1.4	
	♀	3,047	2,897	95.1	22.9	18.7	4.6	46.2	8.2	0.5	1.1	2.3	3.9	2.8
	平均	3,278	3,107	94.8	23.1	19.5	4.4	47.0	8.2	0.4	1.2	2.1	3.7	2.0
2 ♂	3,280	3,117	95.0	21.3	21.2	3.5	46.1	8.5	0.4	1.1	2.1	3.6	2.4	
	♀	2,870	2,772	96.6	23.0	19.6	4.8	47.4	7.9	0.4	1.2	2.5	4.1	3.3
	平均	3,075	2,945	95.8	22.1	20.5	4.1	46.7	8.2	0.4	1.2	2.3	3.9	2.8

表9 経済性試算表

(円)

区・性	収入	支出			P S	所得(収支)			
		素ヒナ代	飼料費	光熱費等		計	1羽あたり	kgあたり	
1 ♂	531.3	80	245.9	34	359.9	417.2	171.4	48.4	
	♀	454.7	80	224.3	34	338.3	340.4	116.4	38.4
	平均	493.1	80	235.2	34	349.2	377.8	143.9	43.8
2 ♂	484.5	80	251.0	34	365.0	339.6	119.5	37.0	
	♀	434.7	80	229.2	34	343.2	311.3	91.5	31.6
	平均	459.6	80	240.1	34	354.1	325.7	105.5	34.4

注 1) 収入：1羽あたり平均体重(kg)×150円

2) 飼料費：前期用49円/kg, 後期用41円/kg, 休薬用39円/kgで試算

3) 光熱費等内訳：衛生費16円/羽, 光熱費その他等18円/羽で試算

4) PS：プロダクションスコア = {(出荷時体重×育成率) ÷ (飼料要求率×出荷日数)} × 100

5) 所得：収入－支出